

SEX飛び出るSEX動画はエロすぎる

欲望初体験
VRデリヘルって何だ

死ぬまで死ぬほど
大人気で7時間待ち
秋葉原「エロBOX」に突撃!
私の「飛び出るエロ動画」見て下さい!



純情水着 佐野量子
元セイントファイ 濱田のり子
貴婦人の妖しき裸身 君和田麗

スクープ直撃

週刊 **ポス**

AVマドンナ 潜入撮
白木優子

2017 Feb.
2.3
定価 430円



をふき飛ばす
トランプ 恫喝

韓国を世界が冷笑している
「日韓友好の象徴になるだつて?」
竹島に慰安婦像「首謀者との珍問答」

大和証券社長の「100%成功」投資とは
「上がる株」注目銘柄60

日本経済「独り勝ち」7つの根拠

異論噴出
なんでも鑑定団「国宝級茶碗」がたつたの2500万円?
ワシントン発トランプ「大統領の余命は1年」

健康長寿の新常識

老化は
認知症、がん、シミ・シワ、
加齢対策は新時代へ

糖尿病、高血圧、高脂血症がいつまで飲み続けるのか
薬のやめどき「教えます」
「がん新薬」続々上陸へ

「おんな城主」はこんななにした!
JALカルビに 女性社長誕生!?
田中萌アナ復帰させてよ

初詳報 危うしイ・ボミ
今春来日「韓流超美女ゴルファー」
黒柳徹子のインスタにみんなが降参
やるじゃん! 楽天・オコエ瑠偉が
年上彼女とハワイ旅行

増田明美VS「駅伝ニュース」
「箱根駅伝」マニア対談
大相関図 阿部派VS坂本派VS内海派
巨人軍「30億円バトル」ぼつ発!

激震!
3分の1が減配で「売る」買う?
毎月分配型
投信 徹底アドバイス

平成28年1月23日(月)発行-発行(毎月隔日発行-発行)第49巻 第6号通巻第2413号(隔日44号)11日 郵政特准郵便物

「オプジーボ」のライバル薬が間もなく日本で処方スタート

「がん新薬」続々上陸へ

PART 2

朗報か?!



米国では2014年に承認された「キイトルーダ」

2014年に日本で承認され、一部の末期がんにも効き目があり「夢の新薬」といわれた小野薬品工業のがん免疫療法薬「オプジーボ」だが、さらに今、その「ライバル薬」が登場しようとしている。この「新薬ラツシユ」は患者にとつて朗報か。

がん治療の最前線では、あんな新薬が目を集めている。昨年、「オプジーボ」と同じ悪性黒色腫（皮膚がん）の一種「と肺がんに対する治療効果が厚労省から承認を得た「キイトルーダ」で、

製薬大手の米メルク社が開発した免疫治療薬だ。医療経済ジャーナリストの室井一辰氏が解説する。「がん細胞に直接作用するこれまでの抗がん剤と異なり、キイトルーダは患者の免疫機能を高めることでがん細胞を小さくします。オプジーボに似た効果を持つため、ライバル薬とされています。



がん治療に新たな可能性を開いたオプジーボ

胃がんや大腸がん、食道がん、肝がん、前立腺がんなどを対象とした臨床試験が国内で進められており、更なる治療効果が期待されています。キイトルーダだが、「薬価」はまだ決まっていないため、現在は一部の医療機関に限って無償提供されている。今年2月にも薬価の確定が予想されており、その後短期間で広く処方されるようになる見込みだ。

これまでとは違ったアプローチで「がん細胞を殺す」新薬は、ほかにも続々と日本に「上陸」すると期待されている。

昨年12月、大手医薬品メーカー・ヤンセンファーマが多発性骨髄腫（血液細胞の一つである形質細胞ががん化した状態）の治療薬として「ダラツマムブ」の製造販売承認を厚労省に申請した（アメリカでは15年11月に承認済み）。

ダラツマムブはがん細胞の表面にできたCD38という抗原（病原菌などの異物）にピンポイントで結合し、免疫機能を活性化することでがん細胞を攻撃するタイプの免疫療法薬である。日本では今年秋頃に承認が見込まれ、早ければ年内に販売開始されるとみられている。

米バイオ医薬品大手のセルジーン社が「末梢性T細胞リンパ腫」治療薬として昨年9月に承認申請した「ロミデプシン」も医学界で注目されている。T細胞と呼ばれるリンパ球の一種ががん化するこの病気は症例が少ないこともあり、根治に至る治療法が確立され

超高額といわれる薬価はどうなるのか？ どんな種類のがんに効果があるのか？ 「第4の治療法」を徹底解剖！

ていない。そんな中、このロミデプシンにはがん細胞が「自滅」していくアポトーシス（細胞死）という効

「競合薬の登場で薬価は下がる」

こうした新薬が普及するうえで高いハードルとなるのが薬価の問題だ。オプジーボは高額がゆえに医療財政を圧迫するとして議論が起こり、厚労省は今年2月から、年間3500万円（体重60kgの患者）にかかったオプジーボの薬価を1750万円に半減することを決めた。

キイトルーダの予想価格は、薬価算定の基準が「類似の医薬品に合わせる」（厚労省保険局医療課）ため、オプジーボと同程度になると予想されている。

元東京大学医学部研究所 特任教授で、医療ガバナンス研究所理事長の上昌広氏はこう指摘する。

「オプジーボは半額になっても欧米諸国に比べてまだ倍近い。今後、キイトルーダのような競合薬の登場に

果が期待されており、優先審査の対象として年内にも販売される可能性があるという。

よって、メーカー間で値下げ競争が始まれば薬価はも

っと下がっていくはずですが、ただし、がん新薬については効果と安全性が未知数な部分も多い。キイトルーダも下痢や倦怠感、発熱などの副作用が報告されており、「くれぐれもよく医師と相談した上での服用を心がけてほしい」（前出・上氏）

とのこと。

それでも、これまで延命治療のイメージが強かった抗がん剤とこれら新薬とは、明らかに一線を画す。

1月17日には、京都大本庶佑・名誉教授らの研究チームが、オプジーボと高脂血症の薬「ベザフィブラ

ート」を「併用」することで、がんの治療効果が高まる可能性があるとして、肺がん患者への試験を始めることを発表するなど、可能性はさらに広がりがつつある。手術、抗がん剤、放射線療法に次ぐ「第4の治療法」の選択肢が現実化してきた。

PART 3 「薬のやめどき」教えます

糖尿病、高血圧、高脂血症、睡眠・不安……

薬を処方することが「商売」になる医者や製薬会社は、「薬の飲み方」は熱心に説明しても、「やめ方」を語りたがらない。

しかし、通院すればするほど増えていく薬を「減らせるものなら減らしたい」と願う患者は少なくない。そこで、高齢者医療の権

威である長尾クリニックの長の長尾和宏氏が、正しい「薬のやめどき」を指南する。

治療を続けることが無条件に善と限りません。ですから、薬にも「やめどき」があることを知ってもらいたい」（以下「内」は長尾氏）



「現代医療は治療を「始める」「ことしか考えておらず、やめる」ことを想定していません。しかし、薬にはメリットとデメリットがあり、当初はメリットが上回っていても、ある時点からデメリットのほうが大きくなることがある。死ぬまで

治療を続けることが無条件に善と限りません。ですから、薬にも「やめどき」があることを知ってもらいたい」（以下「内」は長尾氏）

長尾氏はこのような考えから、薬のやめどきを判断するベースとして、以下の

新刊「薬のやめどき」がベストセラーに（写真は長尾氏）

- 7原則を提唱している。
- ①自分で勝手にやめない。
- ②納得するまで医師と相談する。
- ③副作用や不具合が出たらすぐに医師に相談する。
- ④できるだけ、かかりつけ

あなたの主治医が教えてくれない
健康長寿の新常識

長尾氏が提唱する「薬のやめどき」の例

降圧剤	・75歳以上で糖尿病があり血圧が120未満 とどき上りの血圧が100を下回る ・食後、排尿後に低血圧でふらついて転んだ ・むくみや徐脈などの副作用が目立つ	抗がん剤	・治療開始から2週間後に体力が落ちた ・体重が治療前より15%減少した ・うつ状態が疑われるとき ・1回治療を休んだら案になった
糖尿病薬	・低血糖/低血糖発作が起きた ・75歳以上でHbA1c(※)が6%未満 ・服薬管理ができなくなった	コレステロール薬	・70歳を過ぎて筋肉痛、筋力低下が気になる ・年齢とともに自然に コレステロール値が下がった ・ダイエットが目標値まで成功した

※過去1~2か月の血糖値の平均をもとに、診断に用いる数値。

医師に相談か自分でやめるか

この原則を前提とした上で、薬をやめるには種類ごとに3つのパターンがあるという。

第1は「理論型」だ。「降圧剤や糖尿病薬などの生活習慣病薬は、薬効よりも副作用のほうが上回った時点で医師にやめどきを相談するべきです。たとえば、もともと高血圧だった人でも高齢者になると、自然と徐々に血圧が下がってくる人が多い。しかし、現実には80~90歳代になって血圧の上(収縮期)が100を下回っているのに、2~3種類の降圧剤を飲んでいて人がたたくさいる。血圧を下げることは生命力を下げること、仕事や生活の意欲が低下したり、性欲が減退したりと、生活の質が落ちることがある。降圧剤のメリットをデメリットが上

回った時点で、理論的に薬を減らすべきです」

糖尿病薬についても、低血糖の状態が続くと認知症のリスクが上がり、意識を失って転倒すると命に関わることもある。低血糖の発作が起きたら、薬を減らし、いくタイミングだ。もちろんその場合、食事療法や運動療法に励む必要があることにも留意したい。

第2のパターンは、やめどきを患者自身が決める「自己決定型」だ。「たとえば抗がん剤は、患者さんの生活の質を守るために『いつやめるか』が議論されるべきなのですが、どうしても医師の側は最期まで続けようとする習性がある。死亡直前30日前まで抗がん剤など積極的治療を受けている患者は実に7割にのぼると言われています。

ですから、抗がん剤に関しては患者さん側からやめどきを切り出したほうがいい」

抗がん剤をやめたことで体調が回復し、諦めていた仕事や旅行ができ、予想以上に長生きする人も現実にいるという。

高脂血症を改善するコレステロール薬は、LDLコレステロール値を2~3割下げ、心筋梗塞の発症も3割ほど抑えられるというが、長尾氏によればそれらの薬効は食事療法の効果とあまり変わらないという。

「高齢者へのコレステロール薬投与は、筋力や心身の活力低下により寝たきりを誘導することがある。80歳

週刊誌を持っていけ

て相談に来る患者さん多いですが、『週刊誌の記事なんて』といきなりつぶねる医者はダメです。『この記事のことは正しいが、あなたの場合はこういう症状だから薬を要する』などと、納得いくまで説明してくれるのがいい医者です」

専門家たちが本誌取材に続々と指摘!

「開運!なんでも鑑定団」

曜変天目2500万円

「国宝級茶碗」

「騒動の」

「摘出スcoop」



言したのは、レギュラー出演する古美術鑑定家の中島誠之助氏だ。昨年12月20日の『開運!なんでも鑑定団』では、世界に3点しかないといわれる中国の陶器「曜変天目茶碗」の、4点目が新たに見つかったと放送された。

今年で放送開始から23年目を迎える、テレビ東京の看板番組『開運!なんでも鑑定団』(火曜夜8時54分)。常時2ヶタ視聴率を記録する同局きっての人気番組に、思わぬ大騒動が持ち上がっている。

「なんでも鑑定団」始まって、最大の発見ですね」

「国宝になっていたかもしれない大名品です!」

番組内でこう高らかに宣言